



洗濯物からの火災にご注意を！



★酸化熱とは・・・？

○アロマオイルや植物油等が染みこんだタオルを洗濯し、衣類乾燥機で乾燥させると、洗濯物に残っていた油が発熱し**発火**することがあります。

○これは、油の中に含まれる不飽和脂肪酸（主に植物由来の油に含まれる）が空気中の酸素に触れることで酸化反応をおこし、発熱する現象です。（**酸化熱**）

○乾燥後の乾燥機内に放置したり、まとまった状態で置いておくことで熱が逃げにくくなり、熱がこもることで温度がさらに上昇し、発火に至ります。

○湖南消防管内（守山市内）でも、令和6年3月に飲食店で油等の拭き取り用として使っていたタオルをコインランドリーで洗濯乾燥させ、カゴの中に重ねた状態で置いていたところ、同様の火災事例が発生しています。



～再現実験～

美容油をしみ込ませたシャツを洗濯し乾燥機で乾燥させた。



洗濯物を乾燥機から取り出して、放置開始



放置開始から2時間16分後
自然発火



発火後、そのまま放置していると、洗濯物に全体に火が回った

※独立行政法人 製品評価技術基盤機構（NITE）より一部資料抜粋

※乾燥後の放置によるアロマオイルの自然発火再現映像（下記リンク、QRコード）

<https://www.nite.go.jp/jiko/chuikanki/poster/kaden/01250101.html>



★火災を起こさないようにするために。

①油が付いたタオルなどは乾燥機で乾かさない（→**自然乾燥させる**）。

②油が付いたタオルなどは重ねたりまとまった状態で放置しない。

③油が付いたタオルなどを**捨てる際は水分を含ませ乾燥させない**。

以上のことを守って、「安心、安全」な毎日をお過ごしください(´艸`)♪



湖南広域消防局・北消防署